（松本地域）

令和6年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	プラスチックごみ削減事業
事業主体 （連絡先）	松本市 松本市丸の内3番7号
事業区分	⑸ 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1，045，496 円（うち支援金：793，000円）

事業内容

【アルパッケ】

1　テイクアウト容器リユースシステム構築事業

テイクアウト用使い捨てプラスチック容器の廃棄量を削減するため、「アルパッケ」運営事業者と業務委託契約を締結し、市内でのリユース容器シェアリングサービスの事業化を図っているもの

令和6年度は、事業拡大のためのプロモーションやイベント等でのPRを実施

【アクアスポット swee】

2　マイボトル利用促進事業

マイボトルの利用促進のため、信州大学との連携により、マイボトル専用無料給水機「アクアスポット swee」を村井駅に追加設置（累計16か所）

また、各種イベントにおいてマイボトルの更なる普及のためのPRを実施

事業効果

1　テイクアウト容器リユースシステム構築事業

業務委託期間中のアルパッケ利用回数＝337 回

▸ごみ削減効果：30g×337＝10,110g

▸CO2 削減効果：10,110g×排出係数 2.76tCO2/t＝27,903.6gCO2

※1 回の利用ごとに同等容量の使い捨てプラ容器（30gと仮定）を削減したと仮定

※CO2 削減効果は、削減したプラごみ焼却による部分のみを数値化

2　マイボトル利用促進事業

▸R6 年度アクアスポット swee 全16 か所の使用水量の合計＝74,667L

上記使用水量が、500ml ペットボトルの購入から転換されたものと仮定

→ペットボトル 149,334 本分の削減に寄与

▸ごみ削減効果

149,334 本×45g＝6,720,030g（6.7t）

※資源物も市の総ごみ量の積算に含む。

▸CO2 削減効果

149,334 本×排出係数 224.5gCO2/本＝33,525,783gCO2（33tCO2）

※排出係数は、下記を参考に算出

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sesj/23/6/23_6_447/_article/-char/ja/

【目標・ねらい】

2050 ゼロカーボンシティの実現に向けた、プラスチックごみを削減する様々な取組みの展開による、市民の意識啓発

※自己評価【　B　】

【理由】

昨年度と比較して、アルパッケの利用数は伸びていないが、アクアスポット swee の使用水量は大幅に増加している。

当事業が一定程度、市民の行動変容に寄与していると考えられる。

今後の取り組み

テイクアウト容器リユース事業は、個人のテイクアウト利用から対象を広げ、イベント等使い捨てのプラスチック製容器が使用される場面において代わりに使用できるように新たなルールを策定したため、更なる利用拡大を図りたい。

マイボトル利用促進事業は、アクアスポットsweeの周知を継続しつつ、民間企業と連携した新たな PR 方策の展開により、「松本市＝マイボトルのまち」の定着を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある